

あなたのSDGsは？

vol.11

喜多区 大塚 清信



SDGs 未来都市
南阿蘇村

国連が2030年までに世界の目標として掲げられた17のSDGs。その中でも私は、水、食、働きがい、まちづくり、貧困に取り組める事を意識しています。

家は代々農業を営んでいますが、私自身は設備科の学校を卒業し、ビルや病院などの大きな建物の中で水道配管・トイレ設備工事をする会社に就職し、水や食などの衛生面、安全面も学びました。今回、新阿蘇大橋展望所ヨ・ミュールの指定管理者をさせていただくことになり、熊本地震からの復興の1つのシンボルに関わり、今までの知識が活かせるのではないかと考えています。

20代で、南阿蘇村の認定農業後継者の登録をしたため、食にも意識を向け、地元南阿蘇村の食材を取り入れた事業をしたいと思い、住所の「喜多」から取った『合資会社 喜多食品』という名称で、開業もしました。阿蘇地域の牛乳を使い、自家栽培のブルーベリー等、地元の特産物をトッピングしたソフトクリーム、クレープを販売する「南阿蘇 自然派ソフト」や、地域の子どもたちに人気となったJR大津駅前のタピオカ店「カフェランド」を経営。どれもお客さまの方が、店の継続を応援してくださるので、震災後も地域に根付いた店づくり、そして従業員が働きやすい環境や給与を話し合い、希望に沿った結果を出していく取り組みを進めています。また、お客さまの意見も取り入れてお互いが生活しやすいように考えています。

妻が始めたキッチンカーは、この春で23年目になりました。オープン当初から来てくれる子どもたちがもう大人になり、今はその子どもと来てくれます。妻が主催しているキッチンカーのイベント「南阿蘇の青空レストラン」でも食の勉強、経済の発展、人と人との交流を目指した動きをしており、南阿蘇村のまちづくり、子どもとの交流、販売商品の値上げをしない企業努力、家計や経済の発展に少しでも力になればと思い、日々取り組んでいます。

【最後に一言】

今年はソフトクリーム店の駐車場を広くし、より多くのお客さまをお迎えできるように準備しています。アイスクリーム製造所を造りましたので、南阿蘇村の農産物をアイスクリームに変身させたいと思っています。



編集後記

次の選挙まであと1年を切りました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

私は議員として、「多様性」を大切にしてきました。これまでの経験を活かしつつ、常に広い視野で考えることを心がけてきました。この村には、さまざまな可能性が広がっています。これからも、多様性を受け入れる生き方を大切にしていきたいと思えます。

最後に、長年にわたり県政をまとめてこられた蒲島知事に感謝申し上げます。同世代の木村知事には、熊本の更なる発展を期待し、新たな風が南阿蘇村にも吹き込むことを願いつつ、私も精進してまいります。

辰巳 和美

議会広報特別委員会

委員長 今村 輝宏
副委員長 市原 恵一
委員 河内 克也
// 坂田 正也
// 岡 智則
// 辰巳 和美

発行責任者

議長 山室 昭憲

表紙の写真について

あさひ

朝陽の中の1番バス 朝の来ない夜はない。一刻も早い戦争の終わりを願いながら撮影しました。